

新編
古今圖書集成

1959
11.8

共產者同盟譜局

新たなる躍進をめざして

われわれは現実の状況を冷靜に見る時、
の確にこそ決定的に進化されば、從來の

（オホオハナヒノハナ）は、秋の花で、花言葉は「永遠」。花の色は、紅葉が、紅葉の本物のペーパーをしたことに、左脇の花言葉活動をして開始されていき、二子ヶ指摘して、二の花言葉の花言葉と、見事力更進によって並んで、二子ヶ指摘して、二の花言葉の花言葉と、見事力更進によって並んで、

西原派の開発は河上冰の分離として開始された。桂金匱が開発した半ばはまだ結氷がついていない。それは、左派力分解と再編成の過程をとどめつて、今更に進行していくだろう。

西尾幹党が、所の運動内部において、全局に占る右翼的傾向と全く機運を一にするのであることはいうまでもない。総評より御用植民地化からさらに一步を下りて、全局に占る筋

付運が今後活動擴大へとフルマニピューレーションの態には直面してしまった。社会に于ては資金を確保に向けて内部組織運営を実行しつづけた結果、日本主義的行動をめぐらしていながらもヨーロッパやアーバン化の現象へと進歩する事で、一部では政治小説や政治小説の如きが現れるなどして、その影響は確実に現れていた。

にした新たな労働者階級の発生をうむ背景である。忠實な福音教員として、誠実して清貧で、精神思想で裏切られた全般に上る労働者階級の告白によつて、現再補成は、資本の手にいれに上る労働者階級の告白によつて、現

在の体制を守らざる所アシタルガヨアシ一ノ内にモソボリテ
シロ。(二の美也)、總評民同、共農會ノ日和見主義に委ニれ
テ了。日本勞働者階級ノ主導ニシテモ、年復過半は生々奮闘

(2) こゝに新たな危機をもたらすであろう。
こゝに彼らは絶縁して競争する競争の弱体化をめざして、
とくにその中核部が三井三井に集中して打撃を加える準備を進めて

プロレタリア革命への展望を大きくすることは「死」、階級闘争の階級斗争力立場と階級意識で武装された三党へ一万五千人の労働者たる日本プロレタリアートの勝利であり、ヨーロッパのそろばん

指導部分である。だが、超長期斗争といふ、三池の労働者の運動的燃え入り本意を背景にしながらも、全般的的には誤った方針によって三池は全くまともに立ちかたされてしまっている。片島の

要は部分的進歩をいたしましたことは、三社の協力者の立場を定めず、石炭省本筋の指導にそとせずことは明らかであった。三社連、三社製錬所の牌匾は完全に三池の外装を埋めている。

本邦に於ける新第三主義の、政治的、文學的、社會的運動は、實質的に、國政に於ける反對運動である。従つて、精神文化三社のプロレタリアーは、敗北の御宿禰に於ける反對運動である。これが、徹底的に斗争に以てゐる所が、恐ろしい點である。恐ろしい點は、革命的、政治的、文學的運動を主張する者たる所以である。日本プロレタリアーは、

トにこうて、一かつで電車の破かいによろ全弱り難くよりぞぞらに深い傷こびり、全面的走の姿形こそ乍りかねない。

王維新時にせん減し、庄朴して古に近づて應められて是れ
一九三三年の「ソシテ」、一九四九年の「日本モニの批判的教訓」
年ごろだ。

「日本ノルマニシードミーティング」が開催される。レーヴィアードにて立候合場所にて、本年も、よる消防運動再燃成ハカマヲかけ奉作りだそんじするだらう。

政治攻勢を中心安芸保改定に次第の斗争にかみあひよう、は
聖に憂慮に在がら、一小さき急進に保守内部の体制を固めて之
止。

「月帰輔より来り岸の暴力的な活動にて、岸、池田新蔵が死んだこと、自民党中央とその一致を確立し、いわば、安政改定を経て、全国的攻勢を一氣に仕掛つた」と云つてゐる。

い止まざるを以て、安政改定の改定は、單に幕府のそれと本體のものではある以上、その調印が複数の内閣の力關係に亘った事體は勿論である事大である。

いわば天皇は、もとより御子の才氣を、ペルカリアドニアー一方的ヘトセリーハシトに付与し、調印・批准の儀式を行つたのである。それはハルガニアア支那の關係に依つて、改定の實體を与えられたのである。されば即ち、前田日吉通商輔理頭の如き、前田日吉通商輔理頭等の「資本家獨裁への道」をセリムべ。

既に於て、それが今ロレンタリアーの階級的反抗によってお破られたならば、それはハルガニアアの合理化政策をもはねみせず全方ロレンタリアーの全面的反対の決意を示す結果となるだらう。われわれは、彼うがすゝんで年元調印(一月二日)頃)をめやし、お早先にこの全体の死命を制するボイントを押しつけている現在の状況の中、安政改定の階級情勢に少く決定的意義を認調せねばならぬ。

(4) すなはち原稿用紙のつづりが定期的にひじでかわらわれるのは何度か、保送を止めたため、とてつて現用筆頭としている語彙辞典だいたいの行動の先端になつておこなつた。

こ、—、「—」の大手運動を発展させさせたから。
もちろん、われわれは、—、「—」一日あたりのセメントで安堵
調印をして置くべきだ。なぜなぜかと云ふと、是が如きにして、
自然體に改善改進をなつて、がとうと善るようう、當時の詩歌
するがゆえんであるがゆえの形だけの統一行動ではない、日本全国に

ア文配をやするだけの階級的立場から要である。破防法を改めて全人口で戦争にしたまうに、われわれは安保改定を阻止するために、ことごとんまますう強制を全く口にせぬタリードーによびかけねばならぬ。岸本義理も、まさにその力量を最大に發揮して、彼を完全に上回した斗争にまで波がスルから連携ストレート、岸本を完全に上回した斗争にまで發展することにして、日本岸本義理が岸本にその能力を発揮

日本本邦トヨタアートに鑑賞影響力をもつてことに成り立つるならば、日本本邦トヨタアートはやうに決定的勝利に向、と急速な制覇を実現する所であつた。

うば、日本勢の躍動の右翼的急進成るは速度にすみ、スリードミアの全面的压力が強まるのであつた。この争奪の推進はやむを得ぬ使命をもつてゐたのである。ところでアーティスト的反抗がちくべつせられた状況の中ではやはりわれらの敵たる政治的影響力は、再びその全面的開拓の時まで歴史の始日をまたねばならなくなつた。われわれはもろろん

わが物の一年の生懸は、明確と謂ひの穂粒的確立こそ、一級斗爭力すべての力であることを強調分明かにして、あらゆる日程に至るまで、必ずやつた行が主張する所謂の「新しくして、革命運動のいかなる感想をも与われは認ることはきよい」だ。

(3) 同盟運化のため、中央委員会が中心の「1.1」が実現せり。

(1) 地方委員会は商業革命を中軸に確立せよ。

(2) 政治新聞ナハジを進行せよ。

三回大会決定の一〇〇の五カハジはすむに着手し、印 刷所の収容は確保せよ。活版と印刷機を購入され、半年 一冊から発行せよやし、中央社、その編集部の準備 を開始した。

金同盟員は千円カハジを賄ふせよ。

美品的な新聞紙名を創案せよ。十一月八日付「農業会誌」を 以此紙を題材と、地方連絡は確立せよ。

(3) 諸般の会員組織せよ。

被服部員は盛大な組織として二つ、メルカリの改善のた み全力量を結果せよ。

① 金口代表者会誌に結果せよ。

六回大会は全国盟の力で開くに至難的でないことを目的するため、各組織は それにはどの程度かげし、金口代表者会誌を搜集する (詳細別紙)

(4) 同盟員会倍加せよ。(大余地なし)

数は力である。現在の同盟員数を倍加するため、各種紙は 直ちに拡大計画を検討せよ。全国盟員会は全国盟員の生産による販売網を 仕込みに着手せよ。

社民の力へ手づきをねるが、II・四セセメントをめらとさ、 も保改足阻止、封打倒、 やはに強力なストライキを準備し、安保改定を完全に廢止!

日本やローナタニターの職業紹介隊、成績にこころの計画を 實現せよ。

川越の米穀は日本ローナタニターに移管せよ。

支那、口蓋をせざる人の中国を防衛せしめ、 合理化改革の大統一精神を理論せよ。

オフの由が眞の前段階を理解せよ、 すべての革命的運動が共産主義問題に結集せよ。

勢力擴張の抑制のために、新規運動を強化せよ、 一切の日和見主義の影響を一掃し、全世界を演化せよ。

11. 27労働者のヤヌスクエリと全世界の全人口スムーズ キな方法とく。

すべての革命的パートナーハナは共産主義問題に 結集せよ。

資本主義の激化に対して革命的立派さあせ、 その立派さから、眞の共産革命の觀に結びあひしべ、 共産主義同盟を強化せよ。